



登録医ニュース



絆 きずな

登録医療機関(令和3年6月末現在)

173施設 197名の先生方にご登録いただいております。



[病 院 の 理 念]

本院は、地域社会における中核的な先進医療保健施設として、地域医療の充実と国民保健の向上に貢献します。

[病 院 の 基 本 方 針]

1. 急性期医療を担う地域の中核病院として、安全かつ良質な医療を行うために、適切な説明と同意に基づいたチーム医療を推進します。
2. 地域の医療・介護福祉施設と連携を図りながら高齢者にも対応できる幅広い医療を提供します。
3. 個人情報厳格に保護し、診療内容に関しては真実説明で対応します。
4. 全職員が自己研鑽に励みながら一丸となって地域医療に取り組みます。

ご挨拶

病院長 朝倉 徹



登録医の皆様、平素より当院が大変お世話になっております。

昨年来猛威を振っている Covid-19 の影響で東京オリンピックの開催については賛否が分かれる状況になっています。現段階では観客数を制限して開催する見通しのようです。宮城県でも宮城スタジアムがサッカー会場として利用されます。また諸外国の選手団を受け入れ、事前キャンプ会場を提供するホストタウンとして仙台市など 6 市町が指定されておりますので感染防御策、検査体制確立が急務です。選手受け入れのマニュアルがすでに策定されており、これに従ってホストタウン自治体は対応するわけですが毎日の PCR 検査が義務付けられている一方、具体的に誰が責任をもって実行するのか定かではなく地方へ丸投げしている感は否めません。観客を入れて競技を行う場合も感染対策にかなりの労力が割かれることになりませんがボランティアの確保など課題は山積しています。選手や大会関係者に感染者が出た場合にはホテルに隔離されますが、入院が必要になれば市町ごとに決められた病院が対応することになっています。

現在仙台医療圏での感染者用ベッド使用率は 20%程度で推移しており当院での受け入れも一時は満床の日もありましたが、現在は 1, 2 名となっています。しかし東京では再拡大の兆候が見られており、英国型 α 株より感染力が高いとされている δ 株の比率が上昇していることが感染拡大の要因となっているようです。その影響はいずれ仙台にも及ぶに違いありません。

一方で Covid-19 のワクチン接種は全国的に高齢者を中心に順調に進んでいると報道されています。仙台市では東北大学ワクチン接種センターなどの集団接種施設の他、かかりつけ医などでも個別接種が行われております。当院ではモデルナ製ワクチンの国内治験に則り自衛隊員を対象に現在実施中であり、また仙台市、名取市の集団接種への協力を行って参ります。



地域の医療機関と連携した栄養食事指導の試み

栄養管理室長 齋藤 裕子

JCHO仙台南病院 栄養管理室では 2017 年度より地域のクリニックの先生方からご依頼を受けた患者様への栄養指導を行ってまいりました。

これは院内で行っている栄養指導（院内の医師の依頼で開始）と全く同じものを院外のクリニックの先生方のご依頼で院外の患者様に栄養指導を行うという試みです。2020 年 2 月までの結果をまとめたものをご報告させていただきます。

院外の患者様への栄養指導は 8 名（男性 5 名、女性 3 名 平均年齢 63 歳）でした。依頼疾患名は、糖尿病 7 名、高血圧症 3 名、脂質異常症 3 名、慢性腎臓病 1 名、虚血性心疾患 1 名（複数含む）で生活習慣に関わる指導についてご依頼いただきました。栄養指導の方法は月に 1 回のペースで 3 回行い、1 回の食事指導で約 30 分かけて食事内容、生活習慣、仕事や運動習慣などお聞きし食事摂取量を算出し、実際の摂取エネルギー量と指示エネルギーの差をどこで調整するか提案します。

例えば、栄養指導が必要な方に菓子類、アルコール類、揚げ物を好んで摂られる方が多く見受けられますのでクッキー 1 枚、または缶ビール 350ml 1 本を減らすか、揚げ物をソテーに変更することで約 100~150kcal エネルギーダウンとなります。いずれかを毎日減らしていけば、計算上では 1 か月で体重 0.5kg ずつ減っていくこととなります。実際、減量が必要な方 (BMI24 以上) 6 名中 4 名の方が平均して 3 か月間で体重-1.8kg、BMI-0.8 の減少がみられました。また、減量に伴い HbA1c も改善傾向となりました。

今回の試みの結果を図 1、2 でお示しします。BMI は栄養指導期間中、ほぼ全例で改善傾向となりましたが、栄養指導終了後 6 か月で元に戻る方がほとんどでした。HbA1c は栄養指導中は著明に改善する方が多くみられ、栄養指導終了後 6 か月目も継続されていましたが栄養指導開始より 1 年経過すると元に戻っておりまして。この結果より栄養指導を 1 か月毎 3 か月間行った後も 6 か月毎でも栄養指導を継続した方が良いのではと考えています。

今回の調査データ収集に関しまして、かかりつけの各先生方にお忙しい中ご回答いただきまして感謝申し上げます。現在も地域の先生方と連携し 4 名の方を指導しております。これからも地域医療へ貢献できるよう努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

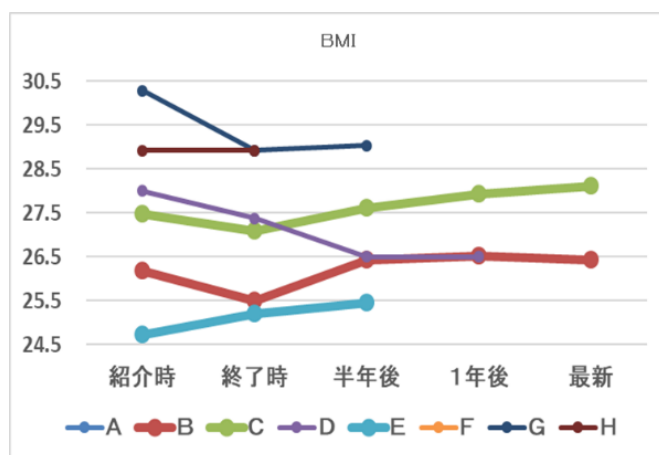


図 1

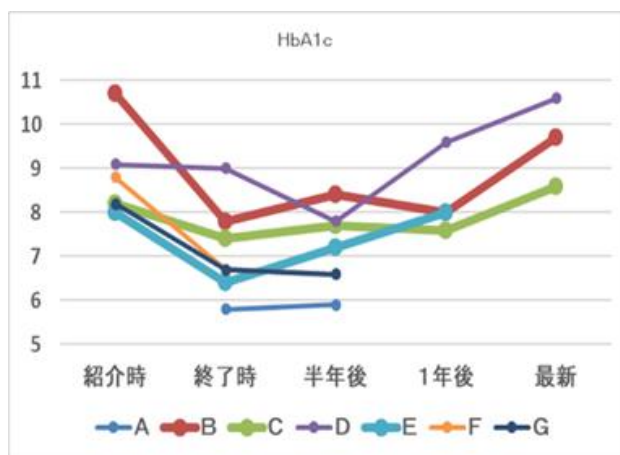


図 2

個別栄養指導 ご紹介について

貴院に通院されている患者様で栄養指導を必要とされる方がいらっしゃいましたら、是非、ご紹介ください。

○対象となる患者様

栄養食事指導料算定が可能な方

完全予約制となっております。

○依頼方法

栄養食事指導用の診療情報提供書に必要事項をご記入の上、採血データと一緒に地域連携室へ FAX022-306-1741 へ送信してください。
折り返し予約票をお送りいたします。

【専用用紙、栄養食事指導用の診療情報提供書は当院ホームページよりダウンロードしてご利用ください】

コロナ禍における感染対策について

事務長補佐(医事) 滝澤 佐恵

日頃より、各先生方には紹介患者様、検査受託の患者様等で大変お世話になりまして厚く御礼申し上げます。

昨今、コロナ禍におきまして感染対策等、いろいろとご苦労されておられると思いますが、当院におきましても、感染対策・発熱した患者様への対応・電話での処方箋発行など、今までに無いような作業が重なり大変苦労しております。

主な感染対策として病院出入口を現在は1箇所のみとし、入口で手指消毒・検温・体調確認を行っております。昨年末より自動の検温機を導入し、発熱・咳・行動歴等の問診を行い、当てはまるものがあれば自家用車・プレハブ診察室等で待機していただき、看護師が個別に対応しております。

また、入院予定の患者様には事前にPCR検査を行い、併設老人保健施設ではショートステイの入所者の方に抗原検査を実施するなど、水際対策を講じています。

これからも感染対策、ワクチン接種等で目に見えない敵との戦いに負けず、1日も早い収束を願いつつ、取り組みを進めてまいります。





検査・放射線 検査受託について



当院の検査受託は外来診察を行わない、医師を介さない検査になりますので、待ち時間なく検査が可能です。診療報酬の請求は登録医の先生方に行っていただき、後日当院より実費をご請求させていただきます。

検査結果にご質問お問い合わせがある場合、ご指摘や結果についてのディスカッションなど、当院技師が直接対応致しますので遠慮なくご連絡ください。

お願い：検査受託の患者様にも検温・新型コロナウイルスの問診をさせていただいております。来院した時点で発熱などがあった場合は、検査日をご変更いただく場合がございますので、予めご説明をお願いいたします。

患者様ご紹介について

いつも当院へご紹介いただきまして、ありがとうございます。
ご紹介、ご予約は直接地域連携室(直通:022-306-1740)でお受けしておりますので、お気軽にご連絡ください。

内科・外科：午後外来は多少時間がかかりますので、お急ぎではない患者様については、午前外来をお勧めしております。

整形外科：完全予約制ではございませんが、待ち時間短縮のため地域連携室でご予約をお受けして、お急ぎの場合やご希望の日時などを調整いたします。



オンライン面会 実施中

《予約手順》

1. 電話 022-306-1711 (代表) にお電話をください
※予約受付時間は、平日 午前10時～午後13時です
2. 「オンライン面会の予約です」とお伝えください
3. 入院病室の看護師につなぎます。ご都合のよい日、時間の調整をいたします



《医療総合支援部 地域連携室スタッフ》

(医療総合支援部長 副院長兼務)	遠藤公人
(内科診療部長 兼務)	原 右
(地域連携室長 看護師長)	高橋秀子
(地域連携室 副看護師長)	菅原恵里
(医療社会事業専門員 主任)	加藤弘江
(医療社会事業専門員)	南館郁美
(地域連携室 事務員)	佐藤桂子



発行 独立行政法人 地域医療機能推進機構 仙台南病院

仙台市太白区中田町字前沖 143 番 代表 TEL 022-306-1711 ・ FAX 022-306-1712

地域連携室 直通 TEL 022-306-1740 ・ FAX 022-306-1741

